

所 属 鳥取県漁業協同組合（酒津支所）

氏 名 たにもと たつろう
谷本 達郎 （30歳）

船 名 せいゆうまる
清勇丸 4.9トン

漁業種類 刺網、釣り 等



～明るく活動的な若手漁師！～

父の誠さんは酒津支所の運営委員長、さらに祖父も漁師と、漁師一家で育った谷本さんは、小さな頃から海に潜り、船に乗っては漁の手伝いをする海が大好きな少年だった。その頃から将来は漁師として食べていくことしか考えてなかった、と語るまさに生粋の漁師だ。

親子で清勇丸に乗り込み、ハマチ・タイを獲る刺網をメインに、アカイカ漁など季節の漁も行っている。「辛いことは掘り下げれば山のように出てくる」と言いつつも、「漁師は実力主義。自由だし、自分次第で稼げる」と前を向く。30歳にして15年近いキャリアを持つ谷本さんは、漁の腕前もさることながら、様々な行事に積極的に参加するなど、常に向上心を持って日々を過ごしている。

そういったひたむきな活躍が評価され、谷本さんは平成29年に県から「未来を担う青年農林水産業者」の表彰を受けた。酒津に留まらず、県内漁業の将来を担う若手漁業者として浜の期待を受けながら、明日も沖に向かう。

～趣味に仕事に子育てに…～

月・金は末恒のクラブ、火・木は宝木のクラブ。水は漁協の職員と。ディスコではなく、バレーボールの話だ。仕事の漁が終われば趣味のバレーが待っている、そんな1週間バレー漬けの生活を送っている。肉体労働とスポーツの両立…元気な漁業者という言葉が本当にぴったりな谷本さんである。

（文責：徳安 理敬）